

管路診断コンサルタント協会

◇創設23年

管路診断コンサルタント協会は管路構造物の計画的な改築・修繕コンサルティング業務の確立と新技術の研究開発を目指して平成10年(1998)4月に発足いたしました。

以後23年間、管路改築・修繕のコンサルティングを行う専門技術者集団として研さんを重ね、国が示す施策の実現に貢献すべくコンサルティング・マニュアル、各種歩掛の普及をはじめとして、技術講習会・研修会の開催や講師派遣などを積極的に行い、会員各社が下水道事業に貢献していくための情報発信を継続してまいりました。

そして、地方公共団体などが実施する下水道管路の改築・更新事業におけるコンサルティング業務に尽力することで、都市における重要なライフラインである下水道管路の維持管理・改築事業の大変重要な一翼を担ってまいりました。

◇下水道展での展示内容

下水道展ではブ

ースに私どものコンサルティング業務のエッセンスが凝集された「下水道管路施設改築・修繕に関するコンサルティング・マニュアル(案)ー平成28年版ー」や各種歩掛を展示いたしますので、ご来場された方々に社会のニーズに即した企画の立案や、管路診断技術の進化への貢献などをご理解いただけるものと考えています。

また、コンサルティング業務に欠くことのできない既設管路の現状調査に関して、本年から強力なアイテムとなる「管診鏡MC・PC」を扱っております。管診鏡MCは360°カメラと360°照明、6.0mの伸縮ポールによって構成さ

れ、地上からマンホール内部の全体像を1度に撮影でき、現地で確認作業ができるものです。全周を1度に撮影できるため撮影漏れがありません。管診鏡PCは高解像度カメラと高輝度LEDライト、6.0mの伸縮ポールによって構成される管口カメラです。MC同様に4K画質で地上からの撮影ができます。両機種ともに従来は危険と敬遠されがちであった下水道施設の内部に入ることなく、地上から点検調査ができ、価格においても極めて優れたアイテムです。皆さまにぜひご来場いただき、実際手にしていただいてその使い勝手の良さをご確認いただければ幸いです。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

